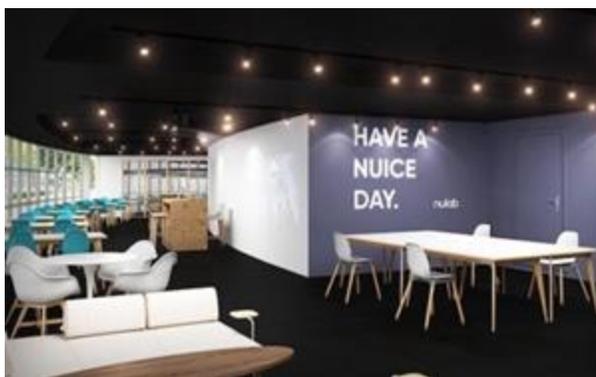


IT部門の運用負荷を解決する Backlog + Nulab Passの利用シーン紹介



nulab

-
- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. 会社概要 | p. 3 ~ |
| 2. IT組織をとりまく市場トレンド | p. 5 ~ |
| 3. IT組織の現状と課題 | p. 7 ~ |
| 4. Backlogとは | p. 11~ |
| 5. BacklogのIT組織におけるシーン別使用例 | p. 15~ |
| 6. Backlogご利用までのフロー | p. 30~ |
| 7. Backlogご料金 | p. 37~ |
| 8. セキュリティ | p. 38~ |
| 9. よくあるご質問 | p. 48~ |
| 10. 各種リンク先 | p. 49 |
-



会社名 株式会社ヌーラボ [公式HP](#)

設立年月日 2004年3月29日

所在地 福岡県福岡市中央区大名一丁目8番6号

国内拠点 東京事務所、京都事務所

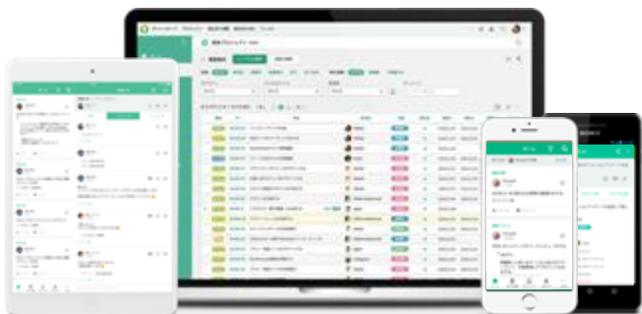
海外子会社 Nulab USA, Inc. (ニューヨーク)
Nulab Netherlands B.V. (アムステルダム)

* 開発拠点及びマーケティング拠点としての活動を担っています。

ヌーラボは組織やチームのコラボレーションを促進するサービスと
企業が必要とするセキュリティとガバナンスに対応するサービスを提供しています。

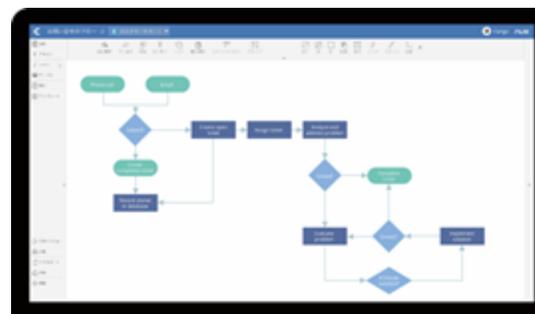
プロジェクト管理ツール

backlog
by nulab



ビジュアルコラボレーションツール

CACOO
by nulab



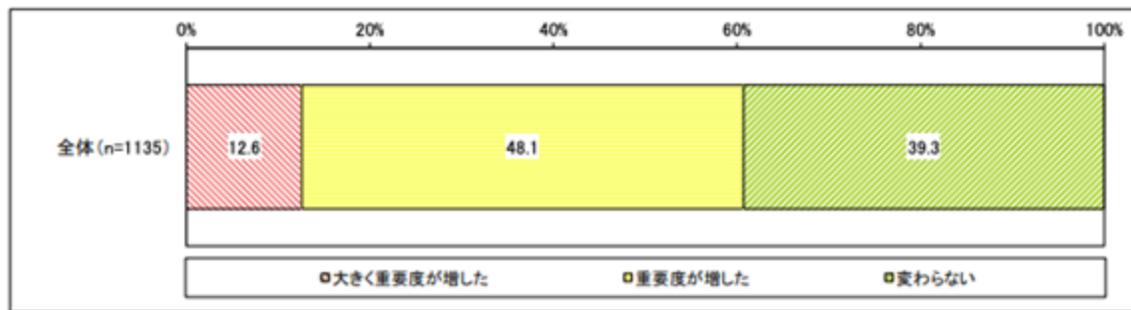
ヌーラボ製品のセキュリティとガバナンスを強化するサービス

nulabpass

IT組織の重要度が飛躍的に変化

約6割の企業がIT組織の重要度が増したと回答。

図 新型コロナ禍前後のIT組織の重要度の変化 ※1



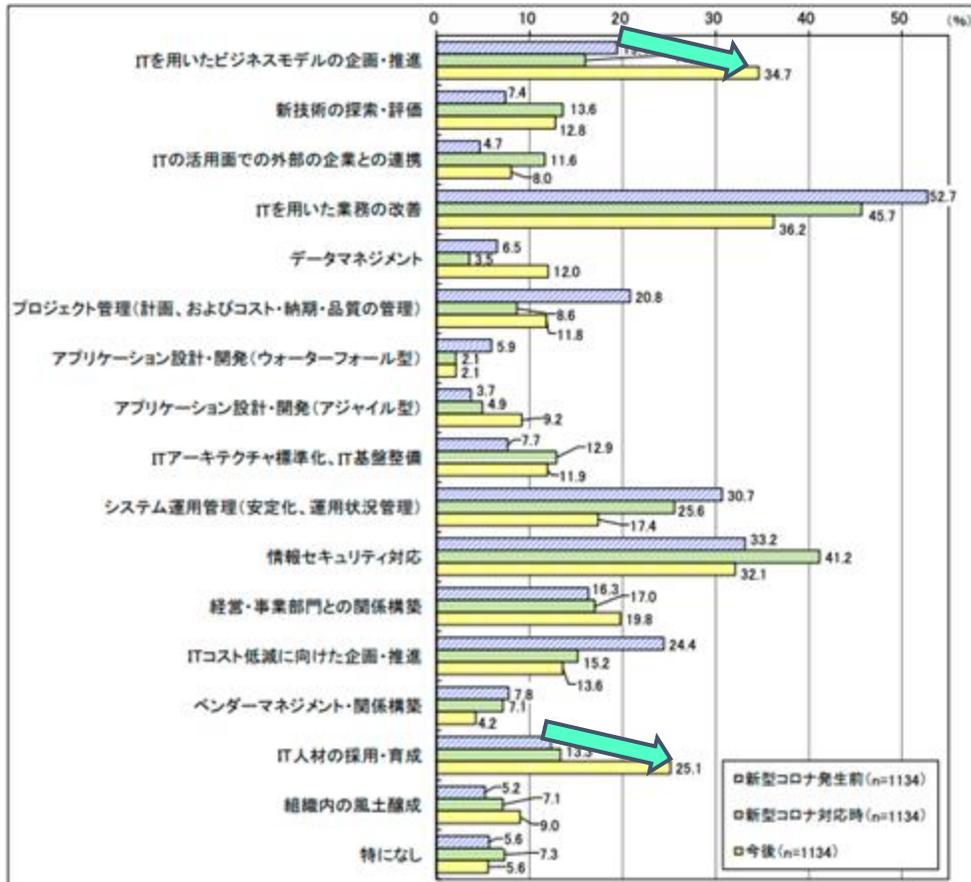
新型コロナ禍により、多数の企業において、テレワーク（在宅勤務）や非接触の顧客対応など、ITを活用した業務形態へ急激な転換が求められていると思います。

このような環境変化により、IT組織の重要性がどの程度変化したかをこちらの図に示しておりますが、「大きく重要度が増した」企業が12.6%、「重要度が増した」企業が48.1%となり、合わせて約6割の企業において、企業内での位置付けに変化があることがわかりました。

※1企業IT動向調査報告書 2021 ユーザー企業のIT投資・活用の最新動向 ユーザー企業のIT投資・活用の最新動向(2020年度調査) p189、p192より
https://juas.or.jp/cms/media/2021/04/IJAS_IT2021.pdf

今後、IT組織に期待する役割として大きく重視する役割は
 「ITを用いたビジネスモデルの企画・推進」、
 「IT人材の採用・育成」

図 新型コロナ禍前後の重視するIT組織の機能・役割 ※1



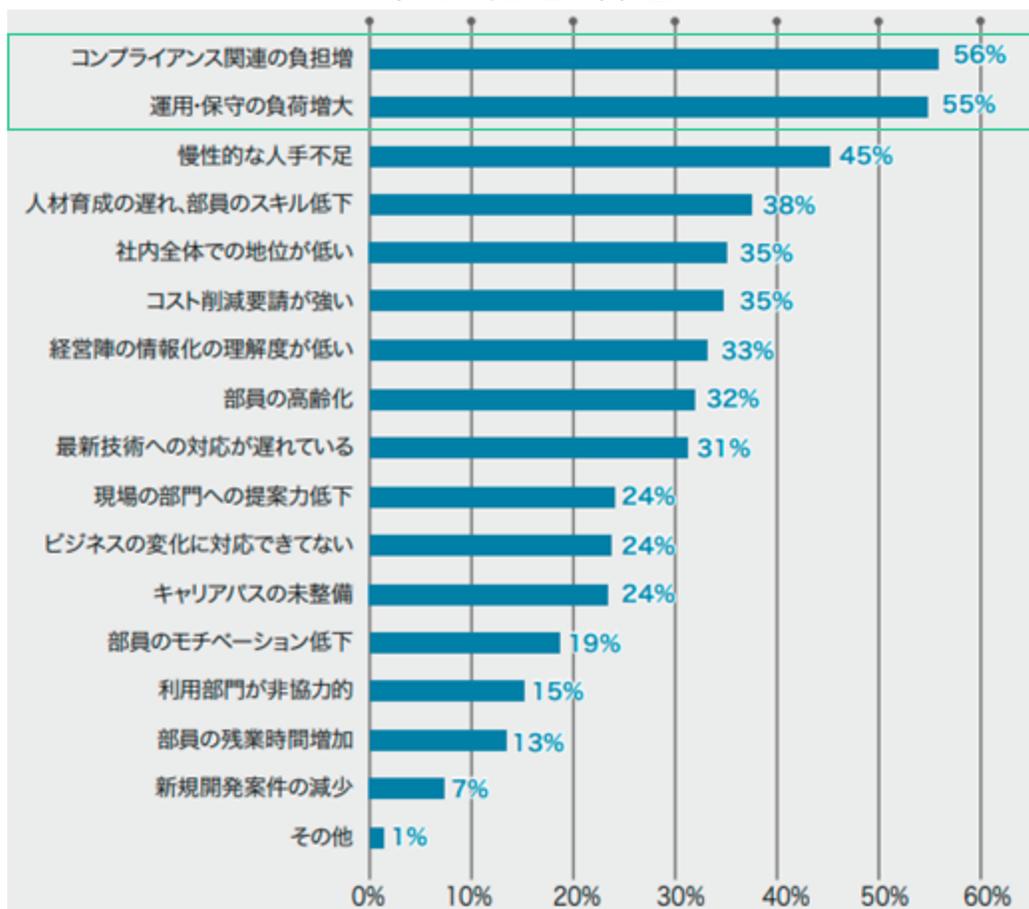
新型コロナ禍前後で、重視するIT組織の機能・役割がどのように変化したかを示したものが左図です。新型コロナ発生前と今後を比較すると、大きく重視度が増した機能・役割は、「ITを用いたビジネスモデルの企画・推進 (+15.3)」「IT人材の採用・育成 (+12.8)」の大きく2つです。

※1企業IT動向調査報告書 2021 ユーザー企業のIT投資・活用の最新動向 ユーザー企業のIT投資・活用の最新動向(2020年度調査) p193より https://juas.or.jp/cms/media/2021/04/IUAS_IT2021.pdf

一方、IT部門が抱える課題では、

「コンプライアンス関連の負担増」、「運用・保守の負荷増大」が上位に。

図 IT部門が抱える課題 ※1



「IT を用いたビジネスモデルの企画・推進」、
「IT 人材の採用・育成」など、行いたい

現行システムの運用保守などの業務に追われ
対応が追いつかない現状



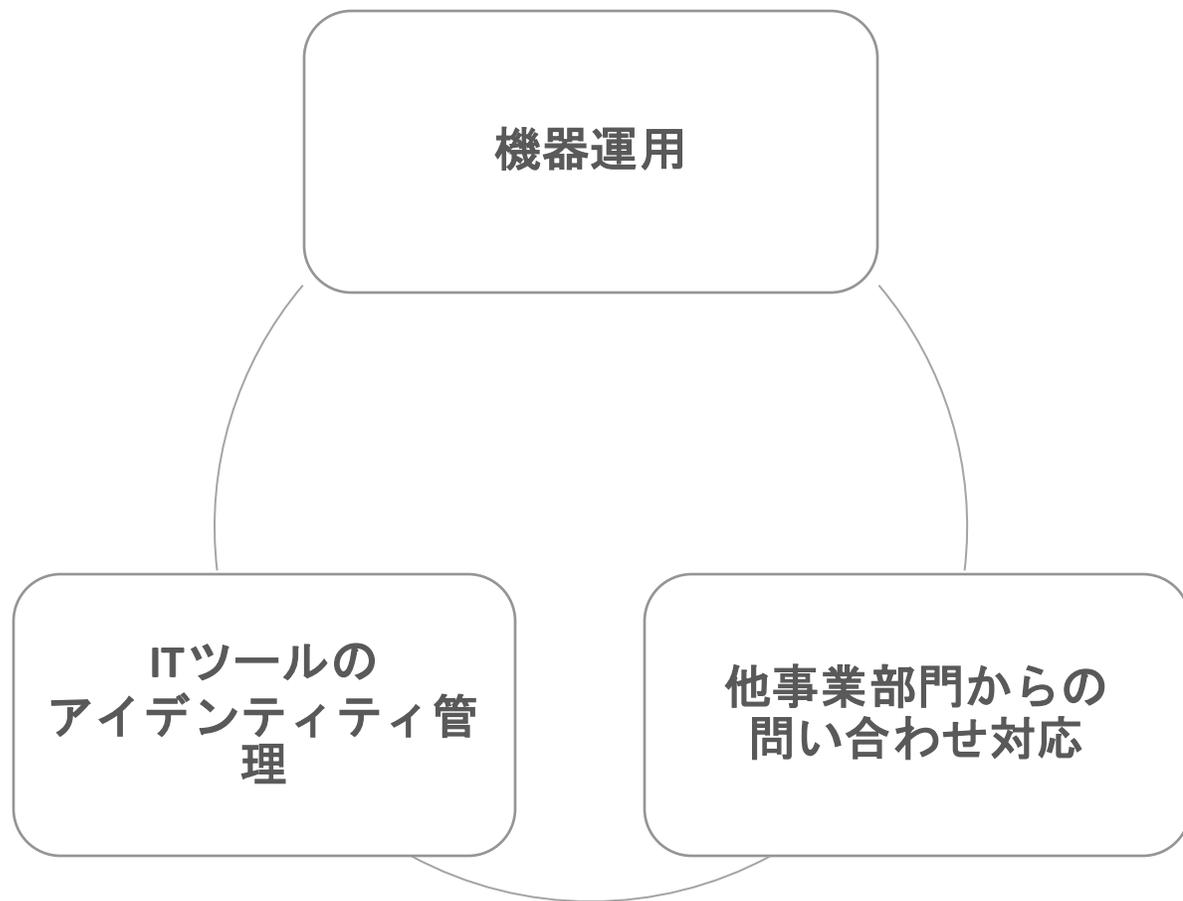
※1資料：「日経コンピュータ」2008年12月1日号 P52（特集 第2回 プロジェクト実態調査 800社、有効回答数 752件）から転載

IT組織の業務が逼迫する要因

課題	要因
コンプライアンス関連 の負担増	<ul style="list-style-type: none">• テレワーク導入の広がり、内部不正や不注意に起因する問題やトラブル対応。• オフィス業務のデジタル化に伴う制度改正への対応 例：R4年1月 電子帳簿保存法の改正 R5年10月 電子インボイス制度の導入
運用・保守の負荷増大	<ul style="list-style-type: none">• SaaSサービス、VPNなど新ITシステム導入の機会増加• 人口減少や求人倍率の上昇などに伴い、人員不足※1• レガシーシステムを管理 世代交代で、導入時に対応した人が社内にはいない状態

※1 参照元：<https://www.r-agent.com/business/knowhow/article/4144/>

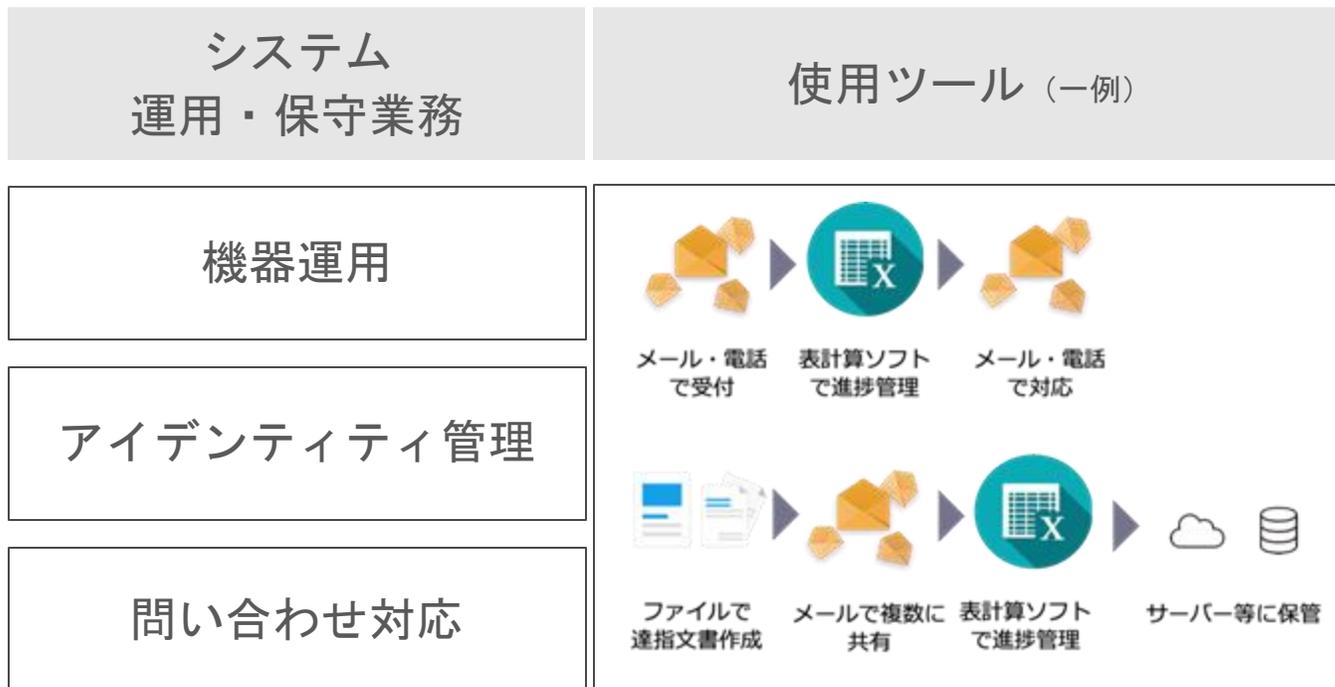
運用・保守の負荷増大の三大要素



運用・保守の負荷を分解してみると大きくこの3つに分けられると思います。

1. 機器運用では、社内ルールの周知徹底。メールや電話での機器の購入申請、バージョンアップ管理などのPCライフサイクルに合わせた多岐にわたる業務
2. 今後増え続けるSaaSなどITツールのアイデンティティ管理は、決裁フローがいまだに紙ベースでのスタンプラリー
3. 他事業部からの問い合わせはメールや電話で受付、対応。案件管理はExcelなどの表計算ツールや紙ベース

更に運用に使用するツール、ファイル管理、それらを取りまとめすることも業務負荷に。これらをまとめてお手伝いするのがBacklogです。

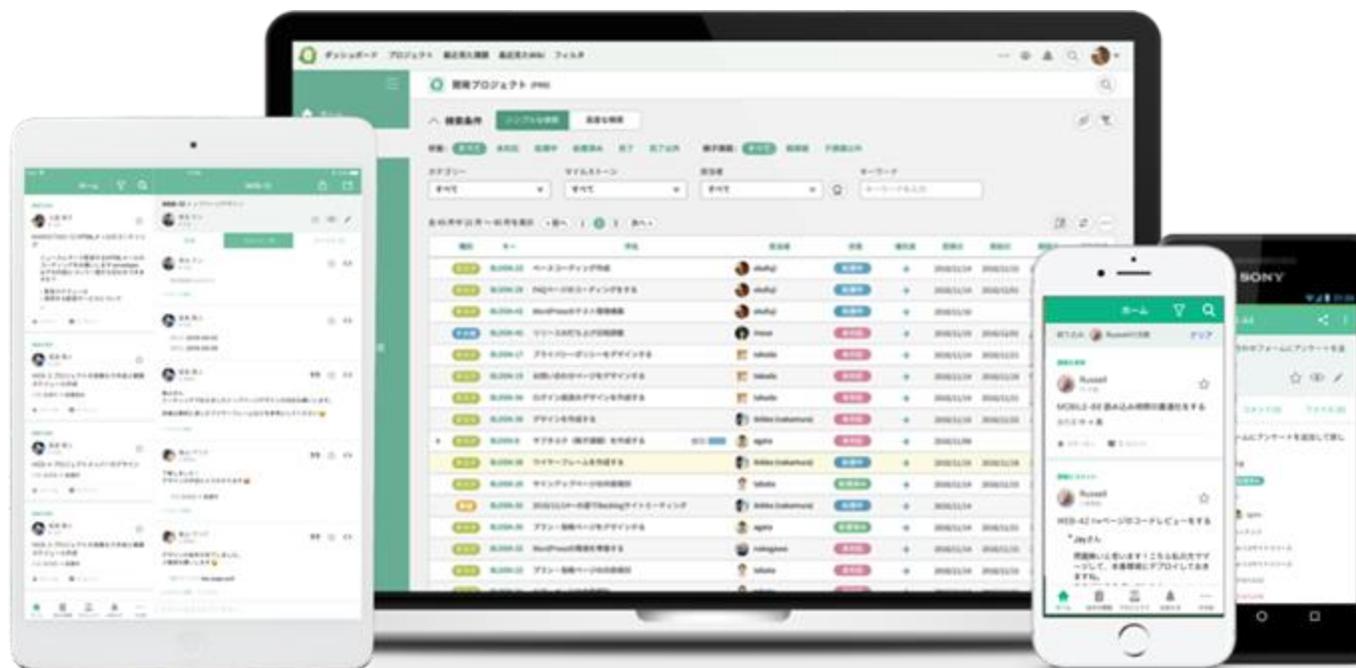


状況により異なる複数のツールを使用
ツールを使い分けること自体が負荷に

タスク管理や Wiki など
豊富な機能がオールインワン



プロジェクト・タスク管理ツール





Backlogの概要

課題の設定・進捗の共有・ファイルの管理・権限管理まで幅広くこなすプロジェクト管理ツール



基本となるタスク管理機能



見やすく手軽に履歴も残るWiki
(ドキュメント管理)



出先からも楽々
タスク管理
モバイルアプリ



大きなファイルの共有も簡単



絵文字とスターで円滑なコミュニケーション



ExcelとCSVによるデータエクスポート



お客様サポートに便利なメールによる課題登録



Backlogの概要

ID	キー	内容	担当者	状態	優先度	予定日	開始日	終了日	進捗
8.204.23	ベースコーディング作成		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/03	2024/11/03	100%
8.204.24	FAQページのコーディングをする		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/01	2024/11/01	100%
8.204.42	WordPressのテスト環境構築		shiro	完了済	高	2024/11/05			100%
8.204.46	リリース待ちの上げ日程調整		shiro	完了済	高	2024/11/03	2024/11/01	2024/11/01	100%
8.204.17	プライバシーポリシーをデザインする		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/01	2024/11/01	100%
8.204.18	お問い合わせページのデザインする		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/04	2024/11/04	100%
8.204.24	ログイン画面のデザインを作成する		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/01	2024/11/01	100%
8.204.19	デザインを作成する		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/03	2024/11/03	100%
8.204.6	サブタスク (親子課題) を作成する		shiro	完了済	高	2024/11/04			100%
8.204.16	ワイヤーフレームを作成する		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/04	2024/11/04	100%
8.204.20	サインアップページの内部確認		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/03	2024/11/03	100%
8.204.05	2024/11/04-05でBacklogサイトミーティング		shiro	完了済	高	2024/11/04			100%
8.204.20	プラン・価格ページのデザインする		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/01	2024/11/01	100%
8.204.32	WordPressの環境を準備する		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/03	2024/11/03	100%
8.204.23	プラン・価格ページの内部確認		shiro	完了済	高	2024/11/04	2024/11/03	2024/11/03	100%

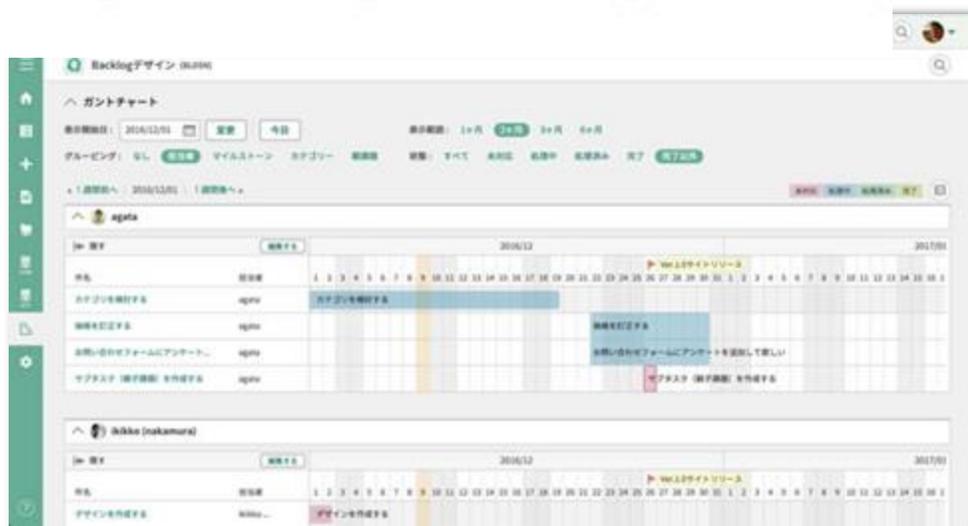
- Backlog 上でタスクを登録することで、誰がどんなタスクに取り組んでいるか**明確把握できる。**
- Backlog に情報をストックしていくことで、過去の事例を参考にしたい時も**簡単に見返すことができる。**



Backlogの概要

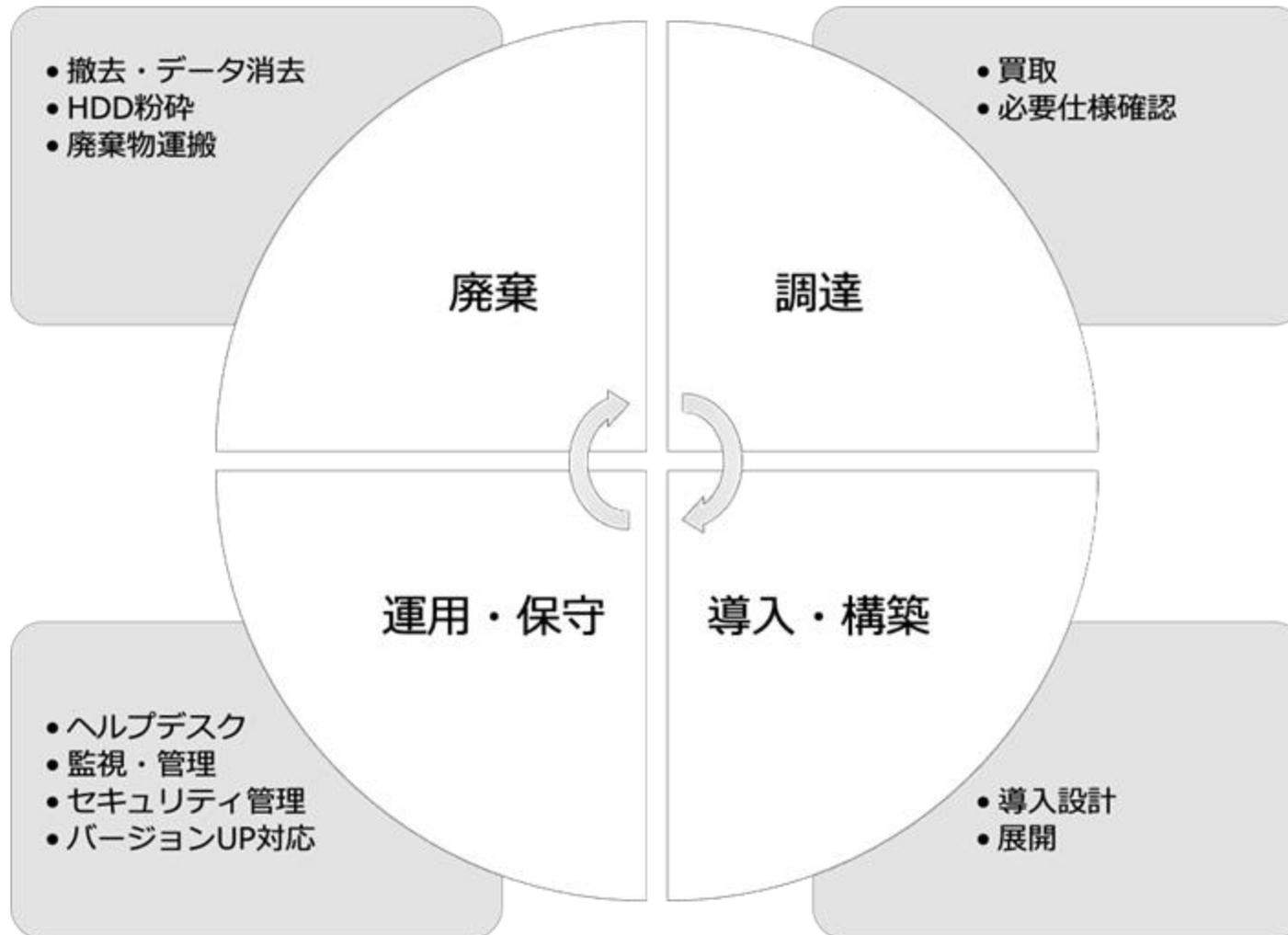


各タスクの進捗や期限日なども直感的に把握しやすい**カンバンボード**や**ガントチャート機能**があり、担当者はタスクの優先度を簡単に確認することができる。



また管理者側はチームの稼働状況や実績を手間なく集計することも。

IT部門ご活用 Case 1 機器運用



Case 1 機器運用編—よくあるお悩み



- 突如訪れるバージョンUPの通知。タスクは突然に。
- 他部署のユーザーが読んでくれたのか不安になる
- 情シスからのお知らせ（お願い）メールを受け手は読んでくれたのか不安になる
- 膨大な問い合わせ
- 抜け漏れがないか不安



PC購入・故障などの対応は、PCユーザーが課題で申請

必要な項目をあらかじめ**テンプレートを登録**して漏れがないように運用

課題登録画面（編集中）

情報システム部 (INFO_SYS)

課題の追加

親課題を設定する

PC購入希望

Apple MacBook Pro 13インチ (名前: 購入月 2019/08)

** PC購入ルールはこちらを確認してください。
Wiki: [[機器管理ルール:https://backlog.com]]

** 購入希望機器
例)
Apple MacBook Pro 13-inch TouchBar-Model Spacegray

** 機器スペック
例)
CPU: The 8Gen 2.7GHz Quad-core Intel Core i7 processor
Memory: 16GB
Disk: 512GB (SSD)

テンプレート化することで必要項目が予め入力されている

課題登録後

情報システム部 (INFO_SYS)

PC購入希望 INFO_SYS-10

開始日 - 期限日 - 未対応

Apple MacBook Pro 13インチ (名前: 購入月 2019/08)

ウォッチ 編集 ...

川崎 麻里子
登録日 2021/12/03 20:40:23

99 引用 ★ 0

PC購入ルールはこちらを確認してください。
Wiki: 機器管理ルール

購入希望機器

例)
Apple MacBook Pro 13-inch TouchBar-Model Spacegray

機器スペック

仕様の確認など抜け漏れを防ぐことができる

※一般的に「タスク」と呼ばれているものをBacklogでは「課題」と呼びます。



Backlog

申請フローなどはWikiを使って、業務・申請フローを管理・共有

社内で予め知っておいてほしいPC購入に関するルールをWikiの機能で文章を保存しておくことで、Backlog上で申請に関わる書類や、連絡が一括管理できる

The screenshot shows a Backlog Wiki page titled "02. 機器管理ルール". The page content includes:

- PCおよび周辺機器の購入ルール**
 - 基本的に特に要望がなければ、社内共通の標準機器を購入の上、貸与する。
 - 購入対象となる標準機器は、以下の2製品から選択が可能
 - ※標準機の仕様は隔年で見直しを実施した上で、Wiki情報を更新予定
- 標準機器①**
 - メーカー：X社製 XXモデル
 - OS：Windows10 Enterprise
 - CPU：8コア
 - メモリ：32GB
 - SSD：1TB
 - 特徴：一般的なノートPCのためどの部門でも問題なく利用可能
 - 製品URL：<https://aaa.aaa.aaa>
- 他の製品やCPUやメモリの増強を希望する場合**

他の製品やCPUやメモリの増強を希望する場合は別途、申請書に理由を記載の上提出を行う
申請書の理由を情報システム部門にて確認の上、必要と判断した場合のみ提供を行う。
購入額の上限やその他制約事項については、以下のPC貸与申請を参照すること
→PC貸与申請（標準機以外）はこちら<https://ccc.ccc.ccc>

- ・ 外部サイトにリンクも可能
- ・ 文字の装飾や絵文字の挿入も可能
- ・ ファイルを添付することも
- ・ 編集履歴も残るので安心
- ・ PDFとして出力可能。
- ・ 紙の印刷にも対応。



初期設定は、PCユーザーを担当者にして課題で依頼①

チェックボックス化して作業の進捗を把握しやすく！

The screenshot shows a task titled "[松中さん] PCの初期設定を行う(機器番号)". The task is assigned to 川崎 麻里子 (Kawasaki Mariko) and is currently "未対応" (Not Responded). The task content includes instructions for PC initial setup and a checklist for Windows 10. The checklist items are:

- ログインアカウントの作成
 - 具体的には、初期セットアップ時に"組織用に設定"を選択した上で、ご自身のアカウントでログインしてください
 - 初期設定画面イメージ
- ホスト名を機器管理番号を元にした名前に変更する(ここにWikiのURLを入れる)
- ポータルアプリをインストールする(ここにWikのURLを入れる)
- プリインストールされているウィルス対策ソフトがあればアンインストールする

At the bottom of the task, the priority is set to "中" (Medium) and the assignee is 松中 聡 (Matsunaka Satoshi).

チェックして
フローを確認



初期設定は、PCユーザーを担当者にして課題で依頼②

お知らせ欄で通知、「自分の課題」の一覧にも表示されるので、**情報を探しに行く手間もなく、埋もれにくい。**

ダッシュボードのお知らせ機能

ワンクリックで
課題詳細に

課題一覧の中で、素早く情報にアクセス

キー	件名	優先度	状態	期限日
INFO_SYS-1	[松中さん]PCの初期設定を行う(機器番号)	→	未対応	11月30日



Backlog

問い合わせなどの対応は、自動課題登録設定で登録漏れも防ぐ

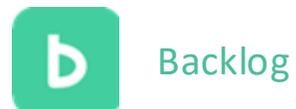
メールによる自動課題登録で、課題登録忘れも防止

The screenshot shows a task card in Backlog. At the top, it says 'お問い合わせ' (Inquiry) and 'お問合わせ: その他' (Inquiry: Other). The task title is 'Inquiry Form' with a registration date of '2019/12/06 17:08:39'. Below the title are several fields: '【お名前/企業名】', '【ご担当者名】', '【Email】', and '【スペースID】'. The '【用件】' (Subject) field contains 'その他' (Other). The '【内容】' (Content) field contains the text: '導入を検討しています。細かい仕様についてお話しを聞かせていただきたいのでご担当者をご紹介いただけますでしょうか?' (We are considering introduction. We would like to hear about the detailed specifications, so could you please introduce the person in charge?). At the bottom, there is a table with task details:

優先度	中	担当者	川崎 真理子
カテゴリ	問い合わせ	マイルストーン	すぐやる
完了理由		発生バージョン	
予定時間		実績時間	

担当者、期日、カテゴリーなどの自動設定

メールで課題登録機能を経由して自動的にBacklogに登録された課題



バージョンUPなどの複数人への通知も課題登録で全社展開可能

未読・既読機能で、全員が開封したかの確認もできる

課題詳細画面

情報システム部 (INFO_SYS)

案内 INFO_SYS-12

開始日 - 期限日 - 未対応

PCをWindows10からWindows11にアップグレードしてください。

ウォッチ 編集 ...

川崎 麻里子
登録日 2021/12/03 21:24:35

99 引用 ☆ 0

Windows11が当社で利用可能になりました

以下のアプリケーションがWindows11で正しく動作することを確認したので、Windows11の使用開始してください。また、VPNシステムが正しく機能していることも確認しました。

Windows11にアップグレードする方法

Microsoftアカウントを指定することにより、IntuneからWindows11を配信するようにセットアップします。Microsoftのサイトから問題なく直接アップグレードできます

コメント欄

ファイル添付がうまくいかない場合はこちら

課題の追加をお知らせしたいユーザー

市岡 篤人
村松 華丸
松中 聡

このプロジェクトへの参加者 (0/17名選択済み)

株式会社ヌーラボデモ全体 (0/17名選択済み)
A_00マーケティング本部 (0/8名選択済み)
B_00製品開発本部 (0/2名選択済み)

コメント (1)

表示: すべて表示 コメントのみ表示

川崎 麻里子
2021/12/03 21:24:35

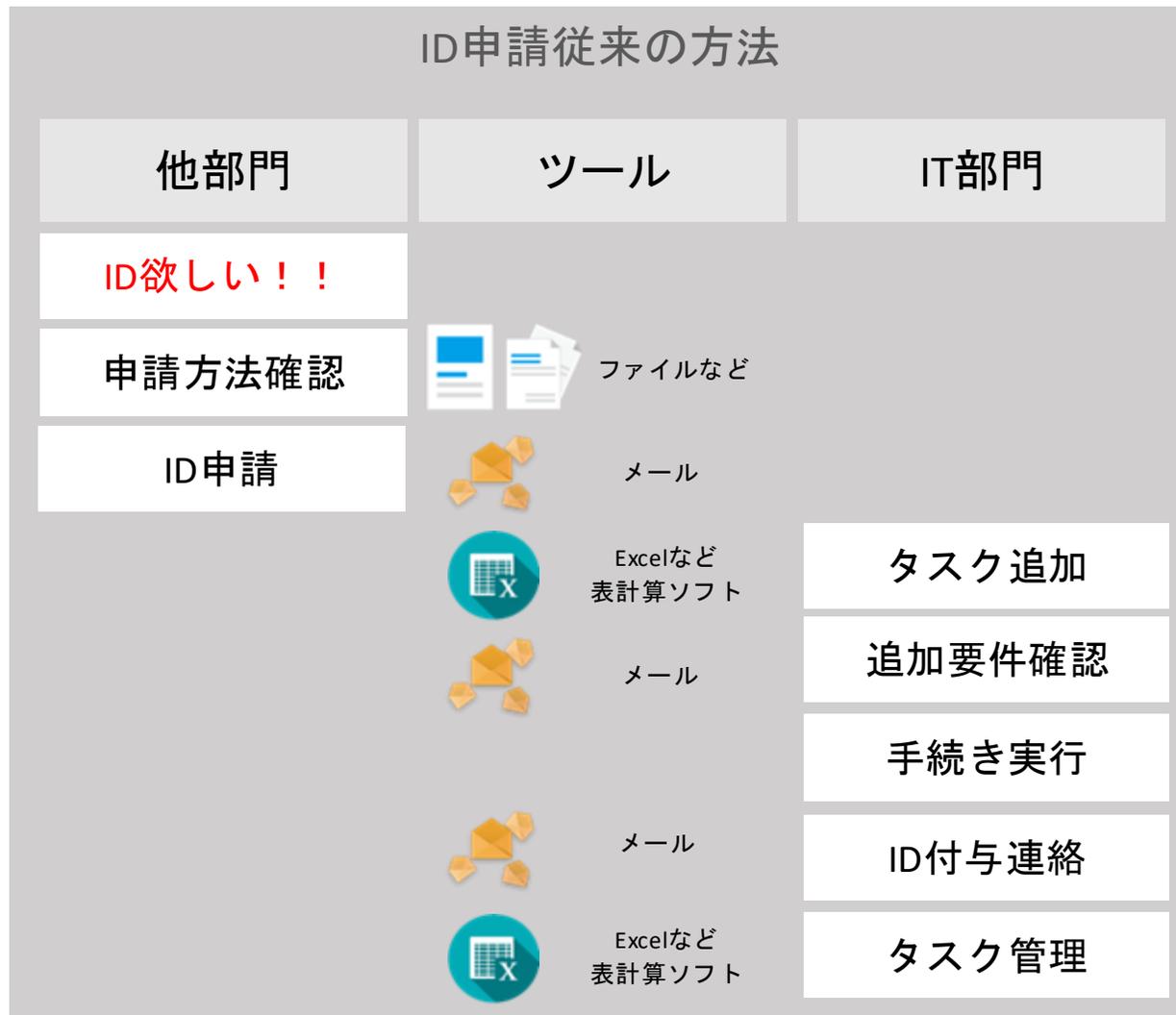
☆ 0 ...

お知らせ: 課題の追加

既読になると
チェックマークが
つきます



Case 2 ID管理



ID申請ひとつでも
複数のツールを使用し、複数の工程、やりとり
が発生。

新入社員がの入社の時期は、この工程が複数部
署にまたがるので
管理だけでも業務が逼迫。

IT部門ご活用 Case 2 ID管理編一よくあるお悩み



- ID・PW忘れる人が多すぎる 捌き切れない問い合わせ
- あれ、これって誰やってる？ 抜け漏れがないか不安
- 対応して、連絡して、タスク管理表に記入して・・・

1件の問い合わせでも、たくさんの工程とたくさんのツール

Case 2 ID管理 ID付与をワークフローツールとして利用することで一気に

Backlogの場合

ID申請用のプロジェクト作成

課題作成で申請

※テンプレート設定、Wikiでドキュメント管理で便利

- ・追加した課題の内容はメールで自動通知
- ・ガントチャート、バーンダウンチャートを自動生成

課題を元に社内手続き

手続き完了



タスクの進捗管理は課題一覧で

進捗を確認しやすい上、業務や情報が埋もれる状況を防げる！

課題一覧画面

種別	キー	件名	担当者	状態	優先度	期日	お客様ID	導入状況	問い合わせの種類
問い合わせ	TOIAWASE-2	お問い合わせがありました - 契約内容の確認(yuki.ando@nulab.com)	yuki.ando@nulab.com	未対応	→	2021/07/31		正式利用中	請求に関する問い合わせ
問い合わせ	TOIAWASE-1	お問い合わせがありました - 操作について(yuki.ando@nulab.com)	yuki.ando@nulab.com	未対応	→	2021/07/31		導入検討	
問い合わせ	TOIAWASE-4	有料オプション ログインできません (yuki.ando@nulab.com)	工藤 鉄夫	本日中に対応	→	2021/07/31		正式利用中	技術的な問い合わせ
問い合わせ	TOIAWASE-3	お問い合わせがありました - 課題の登録方法(yuki.ando@nulab.com)	城島 あゆみ	処理済み	→	2021/08/04		正式利用中	技術的な問い合わせ

それぞれの課題の進捗、担当者が一覧で見ることができる。

「どこまでやったか」をタスク管理表に記載して管理ということも不要

カテゴリ、マイルストーン、担当者でソートすることも



進めていく中での確認・共有は課題のコメント欄に

誰が、いつ、何をしたか、課題の中に履歴として残るので、
報告・確認、業務の引き継ぎもBacklogひとつで完了。

課題詳細画面 コメント欄



課題を進めていく中でも、コメント欄に全ての履歴が残ります。

コメント以外でも、この課題に対して誰がいつ、何をを行ったか履歴として残ります。

IT部門内での報告、他部門への確認、業務の引き継ぎもこれひとつで完了します。



社内業務のデジタルイゼーションを促進して、部署間の連携を促すワークフロー構築



会社名	株式会社アダル 様
業種	製造・メーカー
規模	30アカウント（2020年時点）
利用部署	IT事業室、経営企画室、企画開発室、営業本部
利用用途	業務マネジメント、業務コミュニケーション

Backlog を選んだ理由

- エクセルの工程表からBacklogの課題とガントチャート機能に切り替えられたことで、多い時で**1日20件は発生していたメールリレーを効率化できた**
- 直感的な操作性のBacklogはITツールに慣れていない職種でもすぐに利用できるため、**部署間の連携を促進**

事例 URL は [こちら](#)





まとめ IT部門の運用業務を、Backlogで行うことのメリット

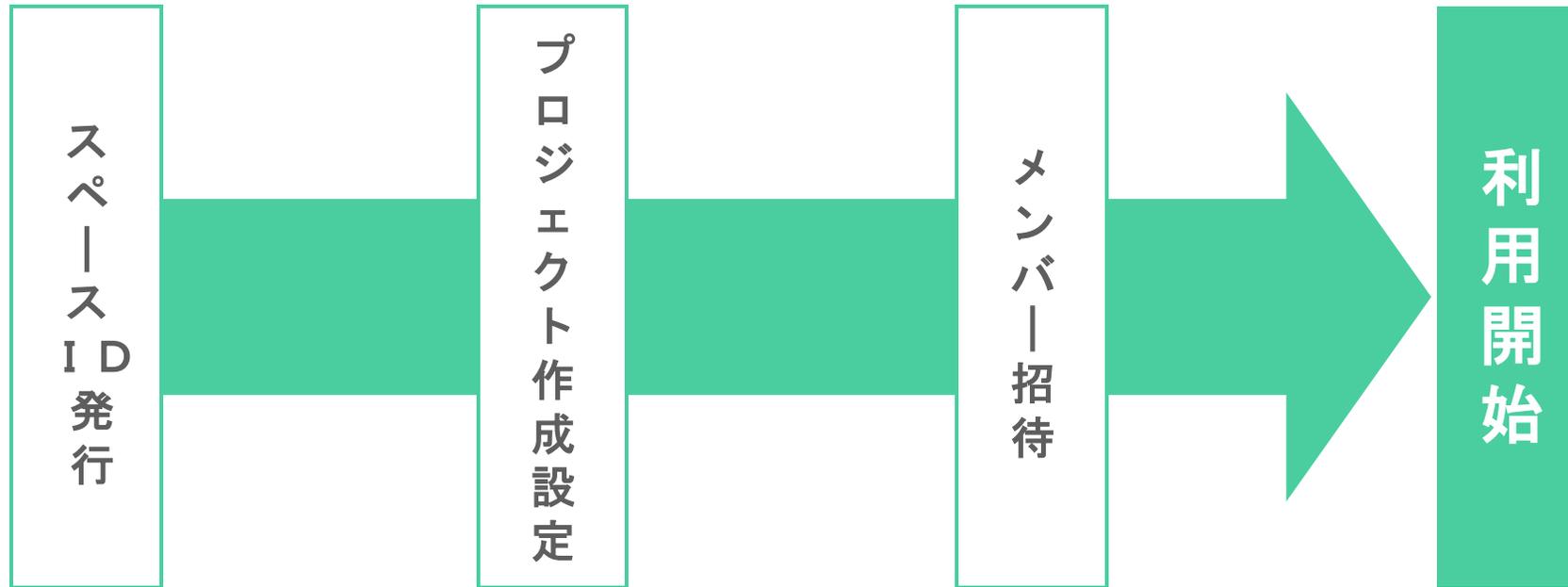


- タスクの起票から、ガントチャート、Wikiなど複数のツールからの**一元管理**
- 膨大な問い合わせもメール登録で**自動で課題作成**
- 誰がどんなタスクや業務を持っているか明確に整理できるので**抜漏れの心配がない**
- タスクごとに情報をストックできるので**見返しもラクラク！**
- 誰でも使いやすいUI UXなので、**他部署との連携が簡単！**



Backlog

Backlog ご利用開始までは3ステップ





Backlog

Backlog の基本的な枠組み スペース



スペースについては詳細は[こちら](#)

Backlogを始めるには、
まず、Backlogスペースを作ります。

Backlogスペースはご契約単位です。

スペースとは、Backlogの契約単位ごとに提供される領域で、各プランに応じて決まったストレージ領域と、ユーザーアカウントの上限（スタンダードプラン以上は無制限）があります。

実際にBacklogでタスク管理をするためには、このスペースというまっさらな土地に「プロジェクト」と呼ばれる、タスクを登録する入れ物を作る必要があります。



Backlog

Backlog スペース作成方法



Backlogのプランと料金について

どのプランも30日間無料でお試しいただけます。
正式登録時にプランを再度選択できます。

月 年 (5%割引)

個人利用向け	組織・チーム利用向け		
		オススメ	
スターター	スタンダード 主要な機能で始める	プレミアム 全機能をフルに	プラチナ 高度なセキュリティ
¥2,970/月	¥17,600/月	¥29,700/月	¥82,500/月
30日間無料で試す	30日間無料で試す	30日間無料で試す	30日間無料で試す

トライアル開始までの流れについては[こちら](#)

プランと料金のページよりご希望のプランを選択し、フォームに必要事項を入力してお申し込みください。
どのプランにも30日間の無料トライアル期間があります。



Backlog

Backlog スペース作成方法



30日間無料ではじめる。お支払い情報必要なし

プラン：プラチナ

フォームに入力

すぐにBacklogが使えます

※すべての項目が入力必須です

marumaruco ✓ .backlog.com

個人のIDではなく、社名・団体名などの組織単位のIDです。

株式会社〇〇 ✓

山田一郎 ✓

yamada.ichiro@marumaru.co.jp ✓

..... ✓

Backlog からのお知らせをメールで受け取る

製品更新情報、ニュースレターやプロモーション情報など（サンプル）

次の「無料で試してみる」から申し込むことで、ヌーラボの利用規約とプライバシーポリシーに同意したことになります。

無料で試してみる

スペースIDは
変更不可

フォームに必要事項を入力して「無料で試してみる」ボタンをクリックしてください。

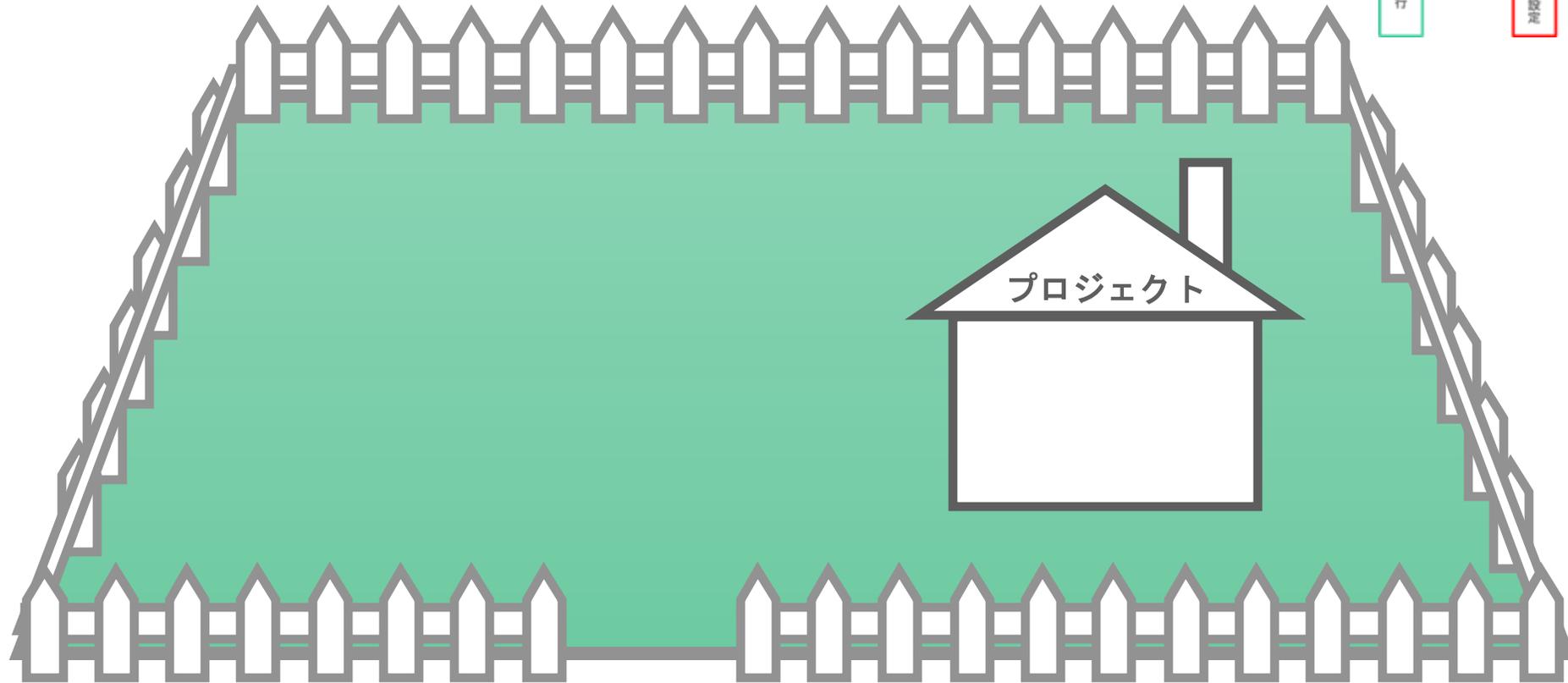
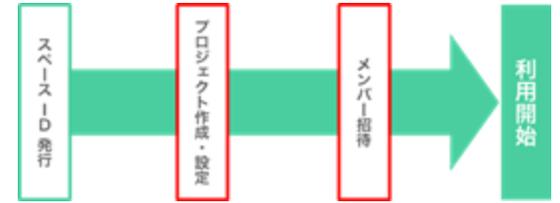
トライアル期間の終了後も継続して利用したい場合は [正式登録](#) をしてください。正式登録をせずトライアル期間が終了すると利用できなくなります。

[トライアル期間の終了後も30日以内であれば正式登録](#) ができます。



Backlog

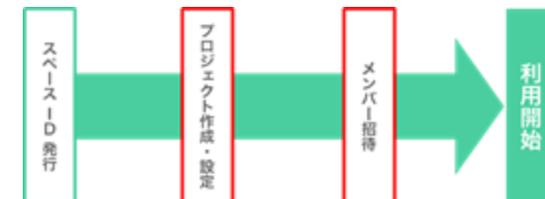
Backlogプロジェクト作成・招待方法



人を招待



Backlogプロジェクト作成・招待方法



プロジェクトキーは、プロジェクトにアクセスする際のURLの一部となります。

以下のいずれかをクリックすると、プロジェクト作成画面が表示されます。

- ダッシュボードのプロジェクト欄の+ボタン
- グローバルバーの+ボタン>プロジェクトの追加

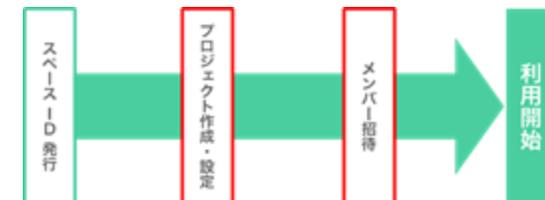
プロジェクト名とプロジェクトキーを入力して登録ボタンをクリックしてください。

プロジェクトの作成方法については[こちら](#)



Backlog

Backlogプロジェクト作成・招待方法



少数のメンバーを招待する場合は、メールアドレスを入力して招待しましょう。

また、一気に多数のメンバーを招待したい場合はCSVで一括登録するのがよいでしょう。

メンバーの招待方法については[こちら](#)



プランとご料金 年間ご契約で2ヶ月分割引

スタータープラン※1

スタンダードプラン

プレミアムプラン

プラチナプラン

オンプレミス型
エンタープライズ

¥2,970 /月

¥17,600 /月

¥29,700 /月

¥82,500 /月

価格はお問い合わせください

	スタータープラン※1	スタンダードプラン	プレミアムプラン	プラチナプラン	オンプレミス型 エンタープライズ
ストレージ (容量)	1GB	30GB	100GB	300GB	無制限
プロジェクト数	5	100	無制限	無制限	無制限
ユーザー数	30人	無制限※2	無制限※2	無制限※2	10人～
Subversion / Git	✓	✓	✓	✓	✓
ファイル共有	✓	✓	✓	✓	✓
ガントチャート		✓	✓	✓	✓
バーンダウンチャート		✓	✓	✓	✓
アクセス制限 (IP 制限)		50 個まで	100 個まで	無制限	無制限
課題のテンプレート		✓	✓	✓	✓
属性のカスタマイズ			✓	✓	✓
認証			2段階認証によるアクセス制限	2段階認証によるアクセス制限	Active Directory 連携
その他				<ul style="list-style-type: none"> ・プライオリティサポート ・アクセスログの提供 ・セキュリティチェックシートの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・Cacoo エンタープライズとの連携

※1 スタータープランではガントチャート・バーンダウンチャートの自動生成ができません。ご注意ください。 ※2 安定した運用を維持するため、最大10,000人までを推奨しています。

* 価格はすべて税込み表示です。

サービスが増えると、ID 管理やセキュリティ対策が心配 . . .



アクセス周りのセキュリティ対策が心配

ヌーラボ製品を扱う
セキュリティをより強化したい



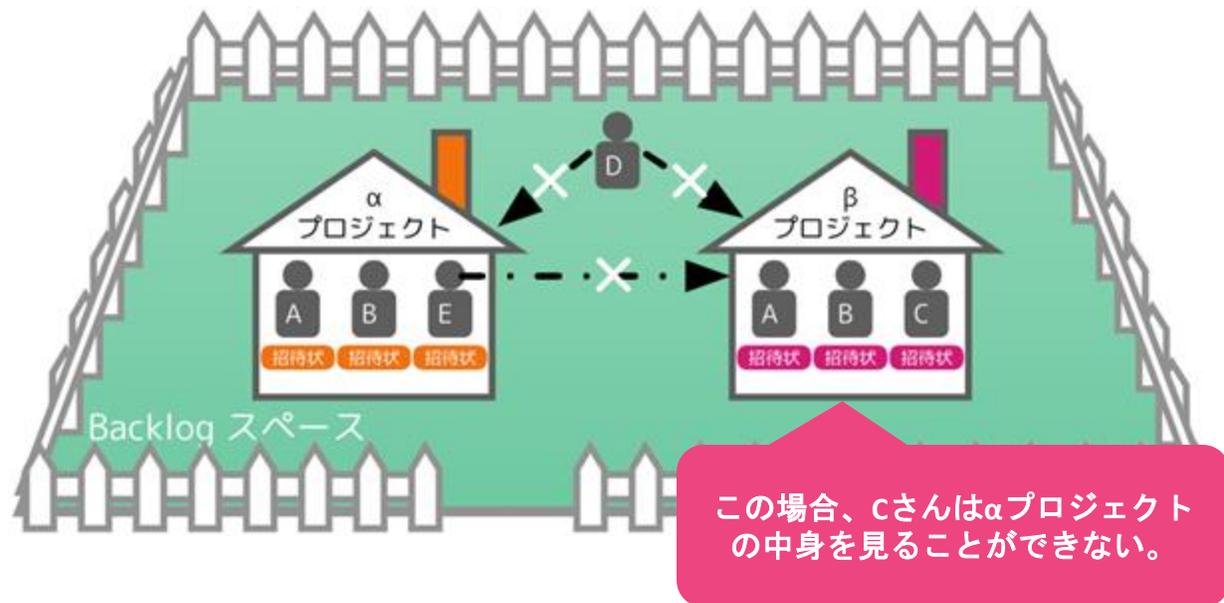
ID管理がまた増える . . .





Backlog

Backlog の基本的な枠組み プロジェクト



同じスペース内にあるプロジェクトでも、それぞれのプロジェクトで、閲覧権限、編集権限というものが独立して分かれています。

ユーザーは自分が参加しているプロジェクトのみ見ることができます



Backlog のセキュリティ

お客様の情報を **高いセキュリティ** でお守りします

(情報セキュリティマネジメントシステム **「ISMS」取得済み**)

安心のデータ保護対策

- ✓ 信頼性の高いデータセンタ「AWS」を利用。
- ✓ 安心のリアルタイムデータバックアップ対策。
- ✓ 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)も取得

不正利用への対策

- ✓ 不正なアクセスはブロック。
- ✓ アクセスログの提供も可能。
- ✓ 全ての通信をSSLにより暗号化。
- ✓ セキュリティ問題への迅速な対応。

障害対策

- ✓ 複数のデータセンタに分散管理。
- ✓ 24時間365日サーバを監視、迅速な障害対策。
- ✓ 障害やメンテナンス情報の事前お知らせ。



Backlog

セキュリティ管理強化オプションのご提供

ヌーラボサービスのセキュリティ管理を強化！

大規模組織やエンタープライズが
求める機能を包括した

nulabpass

SAML認証方式によるSSOや監査ログのセキュリティ強化オプション

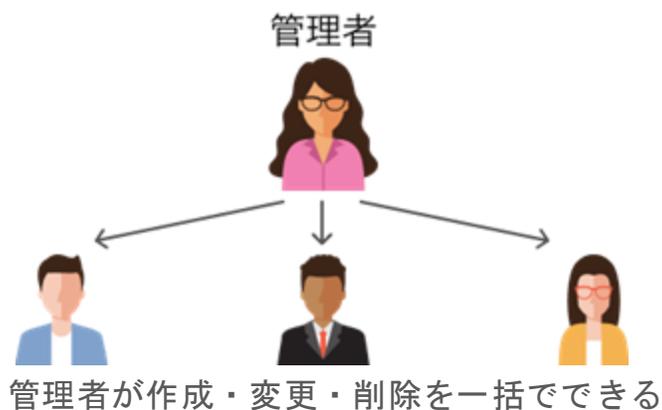
以下URLより資料ダウンロード

<https://nulab.com/ja/document/nulabpass-service/>

nulabpass ニューラボ製品 セキュリティ管理強化オプションのご提供



SAML認証方式による
シングルサインオン
SSO



管理対象アカウント



メンバーの活動をいつでも
CSVでダウンロード

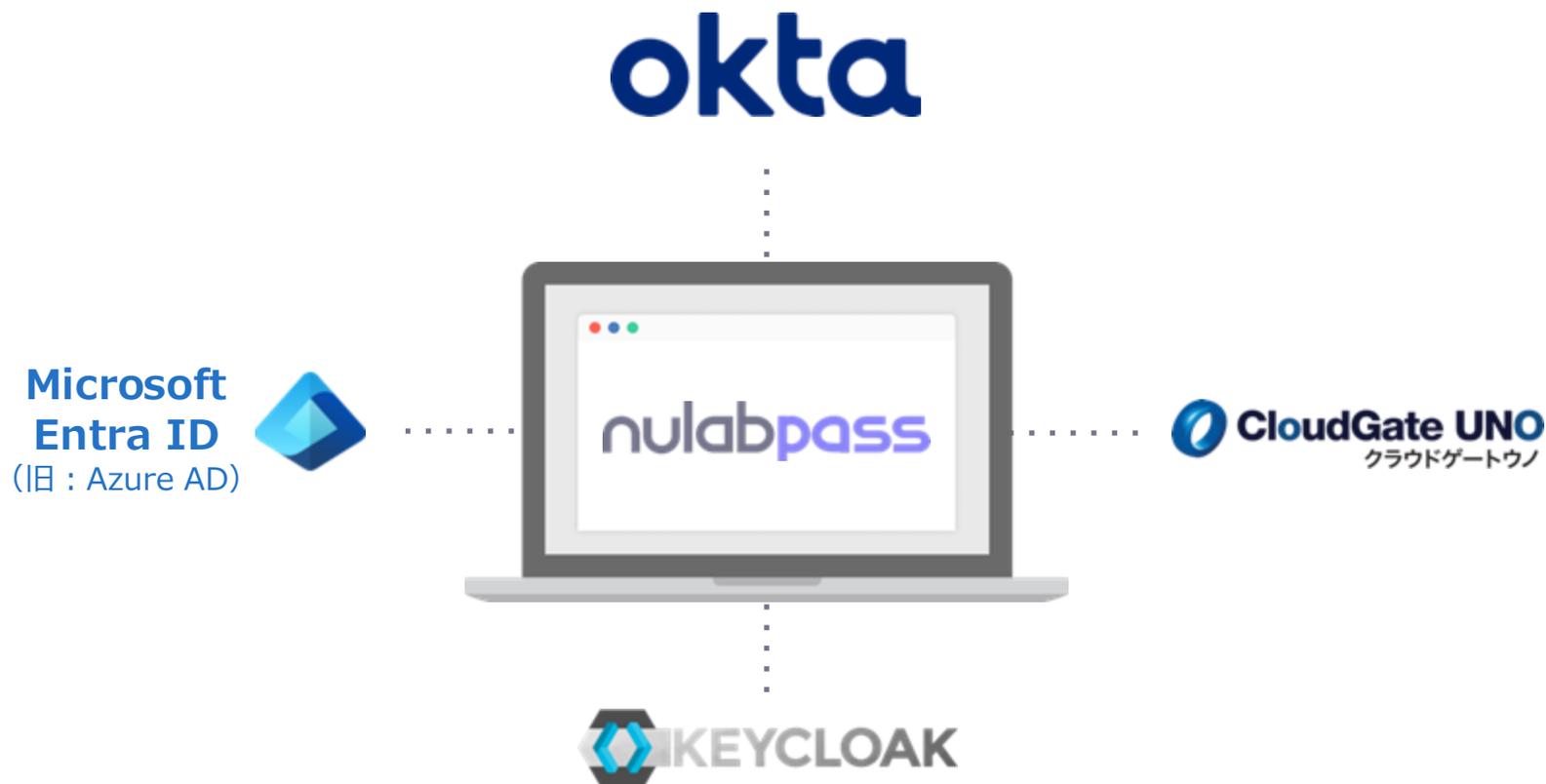
監査ログ

IDaaS サービスに紐づけて **SSO (シングルサインオン) を実現!**

IDパスワード管理を **ラクにしながら強固なセキュリティ** 対策が可能

nulabpass

SAML認証方式によるSSO（シングルサインオン）で
ログイン時にIDプロバイダー(※)を介してアカウント認証



※ Nulab PassのSAML認証方式によるSSOを利用するには、IDプロバイダーがSAML2.0に対応していることが必須です。



「管理対象アカウント」機能で

管理者がアカウントの作成・変更・削除を一括でできる

	管理対象アカウント	ニューラボアカウント
アカウント管理権限	管理者は組織(*)内のアカウントを一括で作成・変更・削除できる	ユーザーが自身のアカウントを作成・変更・削除できる <u>※管理者はアカウントの作成・変更・削除が一切できない</u>
SAML認証	可能	不可
所属組織	管理者が管理する組織(*)にのみユーザーを所属させられる	ユーザーは複数の組織(*)に所属できる <u>※管理者はユーザーが所属する組織を制限できない</u>

※組織：ニューラボではサービスを利用するメンバーやチームの箱を「組織」と定義しています



「監査ログ」機能で、情報漏えいなどのインシデントが発生した際、 タイムリーに不審なアクティビティを特定できる

監査ログ	Backlogアクセスログ(※)
監査を目的として記録するログ	アクセスされた結果を記録するログ
操作内容が詳細に記録される・課題などを閲覧しただけでは記録されない	操作内容は詳細には記録されない・課題などを閲覧しただけでも記録される
いつでもダウンロードが可能	翌月にならないと閲覧できない

基本的に追加・更新・削除に関する操作が監査ログとして記録されます。

※Backlogのアクセスログはプラチナプランご利用のスペースで、毎月10日に前月のアクセスログを提供します。

© 2025 Nulab Inc. All rights reserved.

nulabpass Nulab Passのご料金

30日間の無料お試し後

組織のユーザー数に応じた料金体系

(例) ¥990~

(3ユーザー / 月の場合)

※価格はすべて税込み表示です。

■ 注意事項

- Nulab Pass利用料金に加えてヌーラボサービス（Backlog、Cacoo）の利用料金が別途加算されます。
- 表記の金額は2024年1月時点の金額です。
- お支払い方法は、クレジットカード決済・銀行振り込みに対応しています。
- 課金対象は、Nulab Passを導入する組織内の全アカウントです。管理対象アカウントとヌーラボアカウントの両方が課金対象となります。
- Backlogクラシックプランをご利用の方は、新プランへの移行が必要です。
- Backlogエンタープライズ版をご利用の方は、ASP版Backlogへの移行が必要です。

料金シミュレーション

ユーザー数	月額
3以下	¥990 / 月
10以下	¥2,970 / 月
20以下	¥5,940 / 月
30以下	¥8,415 / 月
50以下	¥14,025 / 月
75以下	¥21,037 / 月
100以下	¥26,400 / 月

※101名以上のユーザー数の料金もご用意しておりますのでお問い合わせください。

nulabpass Backlog + Nulab Pass ご利用料金イメージ

例：95名のユーザーでBacklogプレミアムプランご利用の場合



※ユーザー数無制限(金額変動無し)

両サービスの
概算見積書の発行は[こちら](#)

b よくあるご質問 導入後のサポートは？



- ✓ チャット
- ✓ ヘルプセンター
- ✓ 動画解説 (Youtube)
- ✓ セミナー

をご用意しております！

状況に応じたサポート体制を整えております。
また、ユーザーコミュニティも存在し、
他社の活用事例などを参考にできる機会も設けております。

おすすめサイト：[サル先生のプロジェクト管理入門](#)

backlog

by nulab



- 個別相談会受付中

ご予約は[こちらをクリック](#)



個別相談会予約用 QRコード

- 30日間の無料トライアルも即可能

トライアル開始は[こちらをクリック](#)



トライアル開始 QRコード